SDGs新聞	株式会社コーセー
化粧品の容器をプラスチックから変えると・・・？	

☑ SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんの周りにも、プラスチックでできたモノはたくさんありますよね？
プラスチックは私たちの暮らしに欠かせないものですが、一方で焼却処分の際に、地球温暖化につながるCO_2を排出するうえ、
分解されづらい物質のため、土壌汚染や海洋汚染の原因にもなっています。
化粧品会社のコーセーでは、社会が抱えているこの課題に対して容器や包装に用いるプラスチックの使用量の削減に力を入れています。
容器をコンパクトにしたり、代わりに紙を使ったり、さらには焼却処分の際にCO_2が出にくい新素材を開発するなど、
さまざまな角度からこの課題に取り組んでいます。人はもちろん、地球の環境にもやさしい化粧品づくりを。
みなさんもモノを買うとき、容器や包装にも注目してみて、「地球に優しいかどうか」をポイントに選んでみるものいいですね。

☑ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：雪肌精 SAVE the BLUE | 透明素肌を叶えるスキンケア | 雪肌精 | KOSE

定規やボールペン、筆箱、実は消しゴムも。みなさんの机の上にも、プラスチックから生まれた製品がたくさんあると思います。軽くて丈夫で柔軟性が高く、さらに製造にかかるコストが低いことからさまざまな製品に用いられ、私たちの暮らしには欠かせないものです。このとても便利なプラスチックですが、焼却処分の際には、地球温暖化の原因となるCO_2を大量に排出します。さらに、微生物などにより分解されるには数百年から千年以上もかかると言われ、海を漂うプラスチックのゴミは生き物たちに深刻な影響を与えています。

今、社会では新たに製造されるプラスチックを減らすために、世界中でいろいろなアクションが行われていて、化粧品会社のコーセーでも多様な取り組みを進めています。そのひとつが、「容器や包装に用いるプラスチックの使用量の削減」です。容器をコンパクトにしたり、紙製にしたり、つめかえ用のボトルを採用したり、さまざまな工夫を行っています。またプラスチックの使用量を減らすことで発生するCO_2の量を抑えた「新素材」を開発するなど、あらゆる角度から「容器・包装のプラスチック使用量の削減」に取り組んでいます。

画像参照：商品における取り組み（コーセー公式サイトより）

☑ キーワード

プラスチック

熱や圧力で加工できる物質で、身の周りのあらゆるモノに利用されています。天然樹脂と合成樹脂がありますが、一般的に「プラスチック」というときには、石油から生まれた合成樹脂のことを指します。

CO_2（シーオーツー）

空気中に含まれる気体で、「二酸化炭素」とも呼ばれています。地球温暖化の原因となる「温室効果ガス」のうち、約9割をこのCO_2が占めています。

地球温暖化

大気中のCO_2の濃度が増加することで、温室効果が高まり、地球の平均気温が上昇していく現象のことです。

☑ 対象ゴール

みなさんにできること！

プラスチックが環境に与える影響について話し合い、自分たちにできることを考えてみましょう。

おさらい

- プラスチックの製造・使用が環境に深刻な影響を与えている。
- プラスチックが自然界で分解されるには、数百年から千年以上もかかる。
- 容器や包装を見直すことは、プラスチックの使用量削減につながる。

メモ

SDGs ラジオ